

# 市議団速報

e-mail:info@jcp-niigata-shigidan.com NO.70

2013年12月1日

日本共産党

新潟市議会議員団

電話 025-226-3450

FAX 025-223-7748



「連節バス」導入中止をはじめ、市民の暮らしと福祉を守る予算にしよう申し入れました  
(詳細は次号でお知らせします)

市長に提出(11月29日)

## 2014年度予算要望書を

東日本大震災から2年8か月が過ぎました。福島原発事故により、新潟市には約2千人が避難生活を続けています。市内には避難者交流施設が、東区に「ふりっぷはうす」、西区に「西区交流センター」の2か所あります。

## 福島からの避難者交流施設を訪問

党議員団は2組に分かれ訪問し、避難者の方々から次のような実情、要望をお聞きしました。

(1)新潟市には、2000人が避難しているが、避難区域からが25%、支援対象区域(自主避難)からが75%という状況。

という状況。

(2)自主避難者に対する国の支援は、民間借り上げ住宅に対する家賃補助(平成26年度末まで)、母子避難の場合

は高速道路無料(平成25年度末まで)、授業料減免にとどまっている。

就労支援もあるが、情報の提供のみである。

供のみである。

(3)母子避難の場合、震災前と比較すると二重生活によって、4万円の負担増。これに交通費(ガソリン代)2万円を加えると6万円もの負担増となっている。

(4)二重生活から脱するためには、福島に帰るか、新潟に住むかの選択になるが、その場合、新潟での仕事の確保が前提となるので、中途半端な状態が続いている。

(5)福島原発からやつと逃れられたのに柏崎刈羽原発の再稼働の動きがあるが、絶対やめてもらいたい。

### 【要望として】

一、借り上げ住宅の期間は、単年度ごとなので、一定期間の延長が必要。また、とりあえず今の場所を選んだ人も多いが、移動できないので、それが可能なようにすべき。

### 今後の日程

2日(月)	12月議会	議会運営委員会 本会議	各常任委員会
3日(火)		一般質問通告不切	
6日(金)	12月議会	議会運営委員会	一般質問(4日間)12月11日まで

二、高速道路無料は、母子避難に限られているが、シングルマザーは含まれない。シングルマザーも様々な事情で福島に帰ることが多いので含めること。  
また、高速道路の出入り口の指定は不便なので、やめてもらいたい。

